

## 事業名：成人式開催事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	05 豊かさや創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	03 青少年健全育成の推進								
基本事業	01 青少年健全育成活動の充実								
開始年度	昭和33年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	行事イベント補助

## 事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成人式実行委員会

手段（事務事業の内容、やり方）

新しく成人となる対象者が大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする集いの場を提供するとともに、新成人となる実行委員を募集し、内容などを企画したつどいを実施する。

・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、実行委員会に対し成人のつどい開催に要する経費を補助する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

公民としての権利と義務の再認識の場とし、自律ある社会人としての自覚を促す。

## 指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	実行委員数	人	9	7	4	9
対象指標2	新成人数	人	1,633	1,568	1,504	1,539
活動指標1	補助金額	千円	240	220	220	220
活動指標2						
成果指標1	成人のつどい参加者数	人	1,111	1,044	1,053	1,077
成果指標2	参加率	%	68	66.6	70	70
事業費(A)		千円	416	478	481	493
正職員人件費(B)		千円	1,605	1,603	1,563	1,565
総事業費(A+B)		千円	2,021	2,081	2,044	2,058

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員の募集</li> <li>・実行委員会の開催</li> <li>・成人対象者の抽出</li> <li>・しおり、はがき等などの作成</li> <li>・成人のつどい（式典、交歓会など）の開催支援</li> <li>・活動団体等の事業に対し補助金を支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しおり、封筒印刷費 61千円</li> <li>案内状発送代 77千円</li> <li>実行委員会への補助金 220千円</li> </ul>

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
<p>近年では、式典に参加する成人の態度は落ち着き傾向にある。これは、成人式を真面目に受け止めていこうとする新成人が大多数であることや、家族の方々が、式典を心待ちにしていることも事実である。 一方で実行委員に応募する新成人は年々減少しており、「成人のつどい」を自ら企画運営しようという意識は薄まりつつあると感じられる。</p>	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
	・「成人の日」の行事について 文部事務次官通達 ・自治体の自由裁量であるが、当事者である新成人の家族等からのニーズは例年多い。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
	式典を実施する事のみで、公民としての権利と義務を自覚させることは困難をとまなう。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
	儀式・式典要素が強い事業ではあるが、参加率65%を超える事ができた。少子化の中、参加者数はほぼ横ばいではあるが、参加率は増加している。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
	今後の動向を見極めながら、地域ぐるみでの実施や市民協働による手法に転換することで効果が期待できる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠
	新成人に対する記念品、式典後のアトラクションを廃止したため、単位あたりのコストは極限に達しているが、現状の実施方法では、実行委員会の事務局経費は縮減も考えられる。